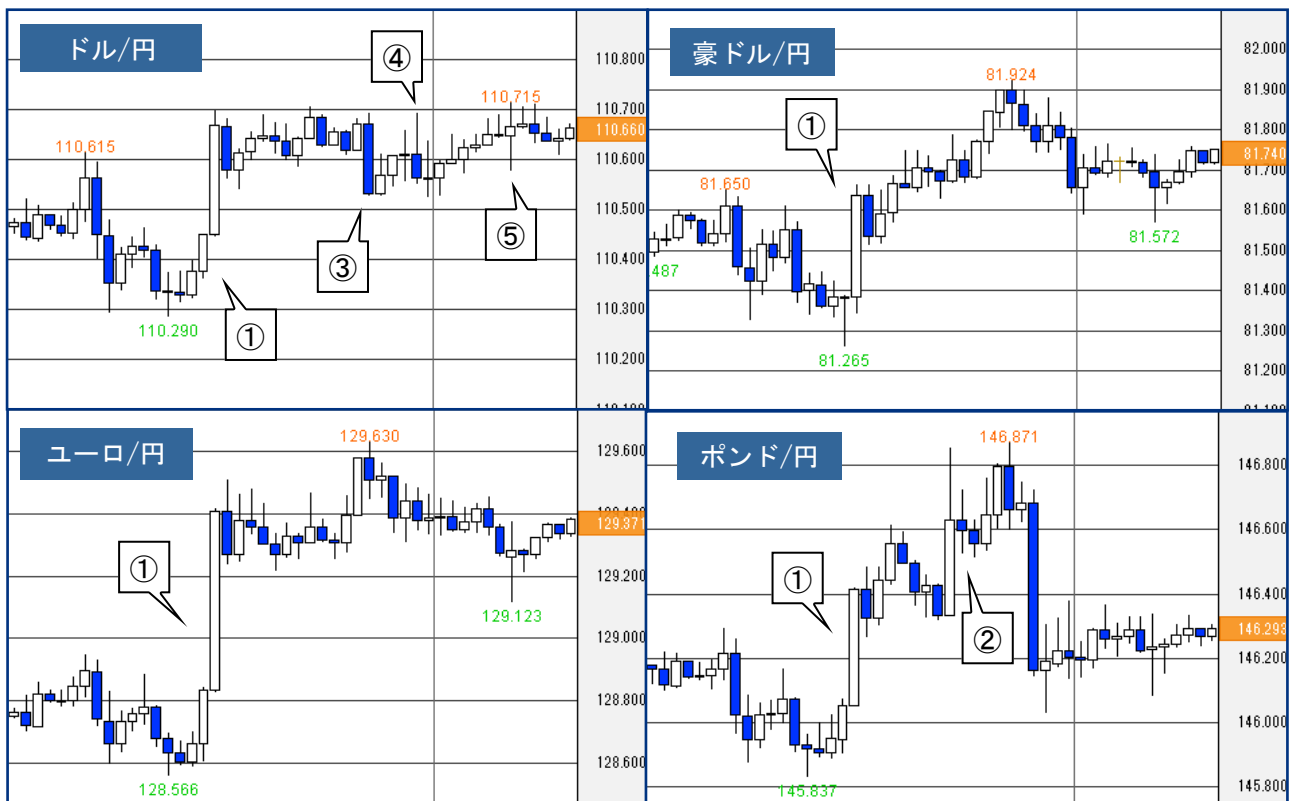


7月6日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米国の対中関税と雇用統計

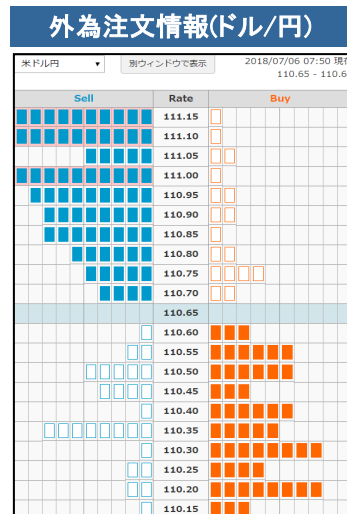
5日(木)の為替相場



期間：5日(木)午前6時10分～6日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① イタリアのトリア財務相がインタビューで「ユーロ離脱を誰も望んでいない」と発言したことが伝わるとユーロ/円が急伸。この影響で円が大きく売られるとドル/円やクロス円にも上昇圧力が掛かった。
- ② カーニー英中銀(BOE)総裁が講演で「さらなる金融政策の引き締めが必要」「英経済は5月の予想通りに成長している」などと発言したことを受けて一時ポンドが強含んだ。しかしその後「無秩序なブレグジットは英経済の負担になる」と英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitに懸念を示したことで上値は限られた。
- ③ 米6月ADP全国雇用者数が17.7万人増と予想(19.0万人増)を下回り、前回(18.9万人増)から伸びが鈍化した。その後に発表された米新規失業保険申請件数は23.1万件となり、改善するとの予想(22.5万件)に反して前回(22.8万件)から悪化したことが判明した。これらにより翌日(7月6日)発表の米6月雇用統計が悪化するとの思惑から一時ドルが売られた。
- ④ 米6月ISM非製造業景況指数が59.1と予想(58.3)に反して前回(58.6)から上昇したことを受けて、ドル/円が小幅に上昇した。
- ⑤ 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録が公表され、「大半のメンバーは貿易政策をめぐるリスクが強まったと指摘」「多くのメンバーは新興国と欧州市場の下振れリスクを指摘」などの内容が明らかとなり、米国の貿易政策のリスクを指摘していたことが判明した。これを受けてダウ平均株価が伸び悩むと、一時ドル/円が値を下げる場面があった。

5日(木)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21546.99 ▼170.05	6215.519 △32.132	2733.882 ▼25.244	7603.22 △30.13	12464.29 △146.68
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24356.74 △181.92	0.0380% △0.0090	2.594% △0.010	1.258% ▼0.019	0.299% ▼0.006
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5507% △0.0264	2.8291% ▼0.0018	72.94 ▼1.20	1258.80 △5.30	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.000-111.400円	128.500-129.900	81.100-82.200	145.300-147.000

【ドル/円】

本日は米国が340億ドル相当の中国製品に対する追加関税を発動する見通しだ。中国も直ちに對抗措置を発動するとしており、報道によれば両国間で発動回避に向けた土壇場の協議が行われている様子はない模様。発動予定時刻は米東部時間24時過ぎで、日本時間13時過ぎとなる事からアジア市場への影響を注視したい。ただ、各種報道などによって発動自体は織り込み済みと言えそうだ。

アジア市場が無難に消化できれば、関心は米6月雇用統計に向かう事になるだろう。市場予想は非農業部門雇用者数が19.5万人増、失業率は3.8%となっている。また、平均時給は前月比+0.3%、前年比+2.8%と見込まれている。昨日の米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録では、米政権の通商政策が成長を阻害しないか注視する構えが示されたが、雇用統計の予想値を見る限り、そうした兆候は見込まれていないようだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/6(金)	10:10		(日) 日銀国債買入れオペ(1-3年、3-5年、10-25年、25年超)	-	-
	15:00		(独) 5月鉱工業生産(前月比)	-1.0%	+0.3%
	21:30		(米) 5月貿易収支	-462億ドル	-437億ドル
	21:30	◎	(米) 6月非農業部門雇用者数変化(前月比)	+22.3万人	+19.5万人
	21:30	◎	(米) 6月失業率	+3.8%	+3.8%
	21:30	◎	(米) 6月平均時給(前月比)	+0.3%	+0.3%
	21:30	◎	(米) 6月平均時給(前年比)	+2.7%	+2.8%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com